

四国アイランドリーグ ロゴ&キャラクター制作

2005/02/02～22

石毛宏典氏が中心となって発足した野球の独立リーグ「四国アイランドリーグ」(運営「株式会社IBLJ」石毛社長)に関しては、1月28日にリーグ名と各チーム名が発表されましたが(四国在中の方から公募)2月2日にロゴ発表、また2月22日にはキャラクター、ユニフォーム及び試合日程が、ついに発表されました。

ロゴとキャラクターは、石毛代表を中心とする関係者の野球に対する熱い思いと、四国地元住民の、地域に根ざした名前をリーグ及び野球チームに反映させたいという思いを、松下進が総監督として、ススム・マツシタ・エンタープライズが制作。各県の特徴を踏まえたアイデア満載の作品に、選手やファンの方々の方々の気持ちも開幕(4/29)へ向けて一気に高まりました!

「四国アイランドリーグ」



四国全体の地形かたどりに、大空と海の雄大さを表現したブルーのロゴ。キャラクターは野球のダイヤモンド形を思わせる「エイ」(通称「マンタ」)で、自由と幸運をもたらすという。

「香川オリーブガイナース」



香川県の特産品でもあるオリーブと地元の方言「ガイナー」=「強い」という意味を組み合わせたロゴ。
キャラクターは、オリーブの木の精霊をイメージ。太い足は大地にしっかりと踏ん張り、強さを表現しています。

「愛媛マンダリンパイレーツ」



愛媛県の特産品でもある「みかん」と地元で古くから伝えられている「日本一の水軍」=パイレーツの強さを組み合わせたロゴ。
キャラクターは、みかんの形をした顔で、コスチュームは水軍をイメージし強さ、勇気、優しさを表現。

「高知ファイティングドッグス」



高知県のチャレンジ精神と闘争心をあらわす、闘犬をモチーフとしたロゴ。キャラクターは、「土佐犬」をモチーフとし、横綱としてのパワーと、自由人として時代の荒波に負けない不屈な精神を表現。

「徳島インディゴソックス」



徳島県の特産品でもある「藍染」をモチーフとし、「レッドソックス」、「ホワイトソックス」にも負けない日本の伝統をイメージしたロゴ。キャラクターは、走攻守そろった「スパイダー」をモチーフとし、糸で張り詰められたクモの巣がホームベースを守る。